

|            |       |
|------------|-------|
| 地域産業委員会    |       |
| 令和5年10月16日 |       |
| 産業経済部      | 資料20番 |
| 所管         | 産業振興課 |

# 「大田区加工技術展示商談会 2023～One for all, All for one～」 の実施報告について

## 1 趣旨

区内中小企業の優れた加工技術を全国の大手・中堅企業にアピールするとともに、出展企業とバイヤーとの商談を通して、今後具体的な受注や契約成立につながることを目的とした1日限りの展示商談会。

## 2 開催日時

- (1) 開催日 令和5年9月8日（金）午前10時から午後5時まで
- (2) 会場 大田区産業プラザ(Pi0) 1階大展示ホール
- (3) 主催 大田区、公益財団法人大田区産業振興協会、  
一般社団法人大田工業連合会

## 3 出展者数 103社・団体

(内訳) 100企業（うち10名以下の企業51社）※今年度新規出展企業10社  
3団体（大田区産業振興協会、東京都立産業技術研究センター  
及び東京都立六郷工科高等学校）

## 4 来場者数・商談件数

来場者：812人 商談件数：890件

## 5 特別講演

「製造現場におけるIoT化と改善につながるデータ活用事例」

講師：株式会社村田製作所 通信・センサ事業本部 IoT事業推進部

m-FLIP ソリューション企画開発課 郷間 真治 氏

聴講者数：64名

## 6 総括

今回は、開催日とラグビーワールドカップの開幕とが同じ日であることに因み、「One for all, All for one」の副題のもと、トライやスクラム、パス回しなどにより大田のモノづくりを表現し、さらに、スタッフもラガーシャツを着用して会場を盛り上げた。

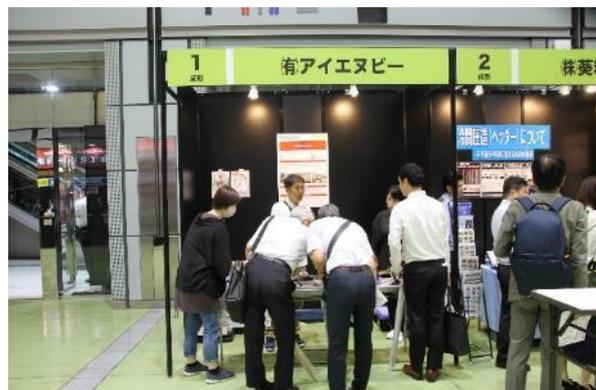
当日は、台風13号が東京を直撃したため、昨年度に比して来場者数は減少したが、各来場者は却って多くのブースを訪問することができ、あわせて説明や商談の時間も増えたことにより、来場者一人当たりの商談件数は昨年度比75%の増となった。

ほかにも、会場のレイアウトの工夫やスタッフの誘導により、出展者同士の交流も活発となった。

＜参考＞会場の様子



ミーティングスペースを中央に配置し商談をしやすく



ブースにおける活発な商談



特別講演後には聴講者から熱心な質問が相次ぐ



ラグーシャツを着たスタッフがパス回しをアシスト



ラグーシャツで会場を盛り上げたスタッフ一同